

令和3 年度 幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価

作成日 令和3年10月27日

法人名 社会福祉法人照治福祉会 園名 浦堂認定こども園

まとめ 全体平均 4.76

第2章第2節 乳児期の園児の保育
前年度からの「親子慣れ保育」で、親子と担任との信頼関係が入園の前から始まり、保育をスタートすることができている。入園式や行事の時にも、保育者同士の語り合いの場(わかる)を行う事で、保護者自身が一人の人として、その時間を過ごすせた。担任同士でも、自分の感じた事を伝え合える環境を大事にしていくと、子どもの一人ひとりを大切にできる気持ちが湧いてきて、より細やかな保育ができている。

第2章第3節 満1歳以上満3歳未満の園児の保育
会議や園内研修の振り返りの時間を何度か経験する事で、子どもの表現している事を、目で見える事、言葉としてだけで捉えるのではなく、心の奥にある言葉や感じている事を深く読み取る事の大切さを感じられるようになりつつある。自分自身の行動や子どもの姿から見えてくるモノを、丁寧に振り返ることで、子どもの思いをありのまま受け止め、より深く寄り添う、丁寧な保育に繋がっている。

第2章第4節 満3歳以上の園児の教育及び保育
「アートの会」の振り返りや、幼児の会議などでそれぞれの意見を、お互いが認め合う経験から、子どもたちの思いを一つひとつ大事に感じられる様になった。遠足では、クラス単位での遠足をやめ、個人で行きたい場所を何度も「わかる」を行い、子どもの感じる事、思いを十分に出せる時間を作れた。行事などの見直しも随時丁寧に行い、子どもにとってどのような時間を過ごす事が大事なのかを対話しながら進めていった。

第2章第5節 教育及び保育の実践に関わる配慮事項
看護師、栄養士、公認臨床師など専門家と話し合い、時には保育に入ってもらいながら、子どもの姿や思いを共有する事で、より深く子どもの実態を掴めたように思う。その時の出来事や、子どもの気持ちを十分に受け止める事で、子どもの人格を一方から見るのではなく、多面から見られるように、保育教諭同士の対話の時間を細目に作り、子ども一人ひとりの理解を深めている。

第3章 健康及び安全
ニュースで報道された事をきっかけに、不審者の対応を参考に園内で細かく行った。合言葉も決め、実際に行うことでもしもの時の対応ができるように訓練する。給食では、アレルギーの子どもの対応について、発注に不備がありもう一度丁寧に見直す事ができた。食養の研修に参加し、日本人の身体の事や健康な身体作りについて学ぶ。肉食や陰陽の観点から、私たちに身体を作っていく食について、改めて考えなおし、日々の給食を変え始めている。

第4章 子育ての支援
公認臨床心理士が月に2度来園、発達障がい親の会「つながりの会」に参加したり、個別での面談をする事で、虐待防止や子ども理解へと繋がっている。保育者の相談もしてもらおう事で、子ども理解と広い幅での見方ができる事で、保護者と共に子育てする中で、共に考える視点ができあがってきた。1号認定の方への説明会などでも、一方的に話すのではなく、語り合う事をベースに進めていくと、一人ひとりが参加している感覚があり、満足されている様子である。

第5章 職員の資質向上
一人ひとりが大切にされるいると感じることで、人任せではなく自分事として考える事、意見する事ができている。子どもを中心に考える事で、今何が大事なのかを一人ひとりが考え行動し、丁寧に保育する事の理解が深まっている。園庭改良(大地の再生)活動において、子どもたちと一緒に活動を行うことで、大人も感じたり考えたりすることを繰り返し経験している。その事により、自分自身の感覚が磨かれ、子どもの視点で感じる感覚が研ぎすまされてきた。

総合
何かを決める事や振り返りの時間で、一人ひとりの言葉を大切にしてきた。職員自身が自分の存在を肯定的に見て感じる事で、子どもに対して最後まで信じる姿が多く見られる。子どもが主体的に行動する事をどの時間も尊重すると、子どものアイデアに大人が気付き、サポートする大人の存在が大切だと改めて感じた。行事を含め仕事を見直す事で、なぜこれが大切なのか、目的を持ち常に対話し進め、保育教諭の仕事を整理し、子どもとの時間をより丁寧に進められる。専門家の助言を受け、保育の様子を観察してもらい、対話をベースに子ども理解を深める事ができた。目で見える力より子どもの思いを感じる事、表現することに耳を傾ける事を大事にする姿が増え大切にすべき事を意識する事で、子ども理解が深まりより丁寧に見る視点が養われる。

内容	項目数	平均
「乳児保育」	15	5.00
「3歳未満児保育」	32	4.84
「3歳以上児保育」	53	4.85
「教育保育の配慮事項」	16	4.75
「健康・安全」	29	4.48
「子育ての支援」	18	4.67
「職員の資質向上」	9	4.56
計	172	4.76

